

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	救急活動後、帰所途中に子供が急に車道に飛び出し、接触しそうになった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	道路脇にいた男児が、救急車を視認しているのにも関わらず、車道に飛び出てきた。
4. 体験した事例の原因・理由	子供が飛び出てくることを想定していながらも、実際には相手からもこちらを視認しているのが確認できていたため飛び出てくることは無いと過信したため。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20 年 5 月 29 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：片側 1 車線の県道上
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急、帰署途中 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：帰所途中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士長]、同様の活動[頻繁]、任務[車長]
○当事者B	年齢[24]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士]、同様の活動[頻繁]、任務[機関員]
○当事者C	年齢[24]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士]、同様の活動[頻繁]、任務[隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	小学校1年生の男児

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	帰所途中、100m先の道路脇で手を振っている男児2名を視認。	
経過2	当事者A	当事者Bに減速するよう指示。	
経過3	当事者B	減速し、徐行しながら走行。	
経過4	その他	男児1名が救急車に手を振りながら、道路中央付近まで接近。	
経過5	当事者A	対向車がないことを確認し、対向車線によけるよう当事者Bに指示。	
経過6	当事者B	徐行しながら男児を回避。	
経過7	その他	現場を立ち去る。	
経過8	当事者A	当人が立ち去り、後続車があり停車出来ないため帰所するよう当事者Bに指示。	
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：相手からもこちらが視認されているのが確認できていたので、車道に飛び出してくると予測がつかなかった。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

子供飛び出し再現図

